令和７年度
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
成果報告書／事後評価書
①（基礎データ・公演事業の実績値等）

地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業	
団体名	公益財団法人 足利市みどりと文化・スポーツ財団
施設名	足利市民プラザ （あしかがフラワーパークプラザ）
内定額	6,335　（千円）

（1）令和7年度　助成対象事業一覧

※実績報告書様式13－2(2)事業内容 から転記してください。
　複数の事業類型(公演・人材・普及)が助成対象となっている場合は、それぞれすべて転記してください。

事業番号	事　業　名	実施日程	実施会場
人-01	文化芸術の「足利学校」 足利ミュージカル研究科　第14期	6月7日～2月15日	足利市民プラザ
人-02	文化芸術の「足利学校」 足利オペラ・リリカ研究科　第14期	6月4日～3月11日	足利市民プラザ 足利市民プラザ別館
人-03	文化芸術の「足利学校」 足利ユースオーケストラ2025	4月5日～3月14日	足利市民プラザ 足利市民プラザ別館
人-04	シニア劇団「燦SAN」 ～ココロもカラダもすこやかプロジェクト～	5月11日～2月22日	足利市民プラザ
普-01	地域の芸術団体による学校連携プログラム ～小学校アウトリーチコンサート&演劇ワークショップ～	5月19日～12月19日	市内小・中学校他
普-02	地域の芸術団体によるアウトリーチプログラム ～0歳もいっしょに！はじめてコンサート＆アウトリーチコンサート～	5月28日～2月18日	足利市民プラザ・小ホール他

（2）〔基礎データ〕

※ 交付申請書から転記してください。令和7年度について見込み等の暫定値だったものは、確定した数値を記入してください。

※ 実施中止分を含まない実績値を記入してください。

【1. 事業本数】

項　　目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
年間事業本数（※1）	主催事業	43	45	36
	公演事業	29	31	22
	（内、本助成対象事業本数）	0	2	0
	人材養成事業	6	5	5
	（内、本助成対象事業本数）	3	4	4
	普及啓発事業	8	9	9
	（内、本助成対象事業本数）	0	2	2
	共生社会事業			
	（内、本助成対象事業本数）			
	その他　内容：　記入してください			

※1　事業の延べ実施回数ではなく、事業本数を記入してください。

【2. 貸館日数】

項　　目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
貸館日数	ホールごとの貸館日数	332	330	328
	ホール名：文化ホール　座席数：826	143	136	128
	ホール名：小ホール　座席数：200	189	194	200
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			

【3. 施設利用者数（事業利用者数）・開館日数・利用可能日数・利用日数・利用率】

項　　目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
施設利用者数（※2）	主催事業入場者・参加者数	39,664	41,178	44,220
	公演事業	26,029	27,430	31,881
	人材養成事業	6,455	6,082	8,084
	普及啓発事業	7,180	7,666	4,255
	共生社会事業			
	その他　内容：			
	貸館事業入場者・参加者数	15,053	16,096	21,068
	その他　内容：共催事業	4,544	6,198	5,746
	計	59,261	63,472	71,034
開館日数		342	342	342
施設の利用可能日数（＝365－（保守点検日数+休館日数））		342	342	342
施設の利用日数		342	342	342
施設の利用率(%)（＝利用日数/利用可能日数）		100.0%	100.0%	100.0%

備考	

※2　実演芸術の公演等を鑑賞する者、ワークショップ等に参加する者、その他の劇場・音楽堂等の事業を利用する者の延べ人数を記入してください。
劇場・音楽堂等のスタッフや、併設施設（美術館、図書館等）のみへの入場者、事業関係者（出演者、指導者、スタッフ等）は除きます。
レジデントカンパニー・アーティストの稽古利用等の場合は「その他」に記入してください。

【4. 公演事業データ】

※ 交付申請書から転記してください。令和7年度について見込み等の暫定値だったものは、確定した数値を記入してください。

※ 実施中止分を含まない実績値を記入してください。

事業種別		事業本数	公演回数	入場者・参加者数	事業本数内訳						
					演劇	音楽	舞踊	伝統芸能	演芸	総合（※3）	その他
令和5年度	主催公演（※1）	23	57	26,029	6	13	2	2			
	共催・提携公演（※2）	6	6	4,544	1	4					1
	貸館公演	38	38	15,053		21	6	5	2		4
	計	67	101	45,626							
令和6年度	主催公演（※1）	31	48	27,477	9	17		2		3	
	共催・提携公演（※2）	11	11	6,198	4	6				1	
	貸館公演	46	46	16,096		28	9	7			2
	計	88	105	49,771							
令和7年度	主催公演（※1）	22	50	31,881	6	10		2		4	
	共催・提携公演（※2）	9	9	5,746	2	6				1	
	貸館公演	53	53	21,068	7	35		11			
	計	84	112	58,695							

※1 名義主催は除きます。
※2 名義共催を含みます。
※3 「総合」には、フェスティバル等における事業数を記入してください。

（3）各公演事業における実績値 及び 評価項目「創造性・企画性」に関する評価指標・目標（値）・実績（値）

- 公演事業について、助成対象事業ごとに目標（値）と実績（値）を記入してください。
- 入場者数・入場者率（目標値）は**「交付申請書」**から転記してください。
- 有料入場者数・有料入場者率（目標値）および評価指標・目標（値）は**「評価補助シート」**から転記してください。

※有料入場者率（%）の計算方法＝**有料入場者数÷公演の設定席数（実績値）合計×100**

事業番号	事業名		入場者数	入場者率	評価指標	目標（値）	実績（値）
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

令和７年度

劇場・音楽堂等機能強化推進事業

成果報告書／事後評価書

②（評価・所見）

地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業	
団体名	公益財団法人 足利市みどりと文化・スポーツ財団
施設名	足利市民プラザ （あしかがフラワーパークプラザ）
内定額	6,335　（千円）

（1）各公演事業の自己評価

「成果報告書／事後評価書①（基礎データ・公演事業の実績値等）」に記載の入場者率・評価指標・実績（値）等に言及しつつ、自己評価と自己評定（※1）を記入してください。

（※1）…S～D で記入してください。

※太枠内に記入してください

事業番号	事業名	自己評価	所見

※行が足りない場合は適宜追加してください。

（２）自己評価

評価項目①：創造性・企画性

（※１）…S～D で記入してください。

評価の観点	・（企画力）地域の状況と芸術性とのバランスが取れた、特色ある事業計画である。 ・（制作力）優れたアーティストやスタッフ等が才能や技能を発揮し、高い水準の作品制作や各種事業が行われている。 ・（発信力・影響力）圏域内外の実演芸術を牽引する成果が期待できる。 ・（レジデントカンパニー・アーティスト）当該劇場を創造拠点又は準拠点とする実演芸術団体やアーティストを擁する。	
	・自由設定の観点（任意）（※２）	

（※２）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

	評価指標（※３）	目標（値）（※４）	実績（値）
公演事業			
人材養成事業	専門人材育成事業への応募者数 （定員充足度）	各人材育成事業において、募集定員を上回る応募者数 定員 ・足利ミュージカル研究科 ・・・30 人 ・足利オペラ・リリカ研究科 ・・・11 人 ・足利ユースオーケストラ ・・・50 人 ・シニア劇団「燦 SAN」～ココロもカラダもすこやかヒロバ～ ・・・15 人	人材養成事業の応募者数 ・足利ミュージカル研究科 ・・・40 人（＋10 人、達成率 133%） ・足利オペラ・リリカ研究科 ・・・18 人（＋7 人、達成率 164%） ・足利ユースオーケストラ ・・・50 人（±0 人、達成率 100%） ・シニア劇団「燦 SAN」～ココロもカラダもすこやかヒロバ～ ・・・19 人（＋4 人、達成率 127%）
普及啓発事業	0 歳から参加できる事業の参加者数	地域の芸術団体によるアウトリーチプログラム～0 歳もいっしょに！はじめてコンサート～において、目標定員を上回る参加者数 定員 足利オペラ・リリカ　・・・　50 人 足利カンマーオーケスター ・・・　50 人	地域の芸術団体によるアウトリーチプログラム～0 歳もいっしょに！はじめてコンサート～の参加者数 足利オペラ・リリカ ・・・154 人（+104 人、達成率 308%） 足利カンマーオーケスター ・・・222 人（+172 人、達成率 444%）
共生社会事業			

（※３）・（※４）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、事業類型ごとに太枠内に自己評価を記入してください。

公演事業	
自己評価	
所見	
対応・追加情報（所見・意見交換を受けて）	

人材養成事業	
自己評価	評価指標である「定員充足度」において、展開した全 4 事業すべてにおいて目標を達成した。 「足利ミュージカル研究科」が 40 人（達成率 133%）、「足利オペラ・リリカ研究科」が 18 人（同 164%）、「シニア劇団『燦 SAN』」が 19 人（同 127%）となり、いずれも定員を上回る応募を得た。また「足利ユースオーケストラ」についても 50 人の定員を充足（同 100%）した。 子どもからシニア層まで幅広い世代が参加できる当館の 4 つの人材養成事業が地域のニーズに合致していることを示している。引き続き、地域の文化芸術活動を支える中核的な場として、これらの事業を継続・発展させ、さらなる質の向上に努めていきたい。
所見	文化芸術の「足利学校」としての「足利ミュージカル研究科」、「足利オペラ・リリカ研究科」、「足利ユースオーケストラ」3 団体およびシニア劇団『燦 SAN』それぞれが定員を上回る応募者を得て地域に密着した事業であることが伺える。 シニア劇団『燦 SAN』の公演「裸電球に一番近い夏」公演は 60%程度の集客で高齢者が目立った。戦後 80 年でもあり終戦直後の公演中止をめぐる演劇団体の覚悟を描いたもので、劇団員の熱演は評価したい。ただし公演が 8 月ではなく 2 月であったことが惜しまれる。
対応・追加情報（所見・意見交換を受けて）	

普及啓発事業	
自己評価	評価指標である「0 歳から参加できる事業の参加者数」において、目標値を大幅に上回る成果を収めた。目標定員各 50 人に対し、「足利オペラ・リリカ」による公演が 154 人（達成率 308%）、「足利カンマーオーケスター」による公演が 222 人（同 444%）に達した。2 事業で 376 人の参加を得たことは、想定を超える極めて高い充足度と言える。 令和 3 年度から実施している本事業は、年々参加者が増加しており、回を重ねるごとに地域に浸透し、親子で音楽に触れる貴重な機会として、地域のニーズと合致していることを示している。参加者からは「子どもと音楽に触れる機会があって嬉しい」、「子どもと一緒に楽しめたのでよかった」という声が寄せられ、10 割近くが「また来たい」と回答しており、高評価を得ることができた。 今後も引き続き親子で参加できる鑑賞環境の充実を図りたい。
所見	普-02「0 歳もいっしょに！はじめてのコンサート」のアウトリーチ参加者が「足利オペラ・リリカ」へ 154 人、「足利カンマーオーケスター」へ 222 人と予定より増加したのは評価できる。 今後はここ数年の参加者推移を踏まえ、持続性ある目標設定を期待する。
対応・追加情報（所見・意見交換を受けて）	

共生社会事業	
自己評価	
所見	
対応・追加情報（所見・意見交換を受けて）	

（２）自己評価

（※１）…S～D で記入すること。

評価項目②：国際性（任意）

評価の観点	・（国際プレゼンスの向上）海外の劇場やフェスティバル、実演芸術団体等と連携し、国際共同制作や海外作品の招聘等に取り組んでいる。 ・（国際交流）アーティストや文化芸術関係者の招聘等、人的交流や情報交換が行われている。 ・（新たな創客への取組）在住外国人や訪日外国人に向けて文化芸術体験の機会を提供する等、グローバルな視座で創客に取り組んでいる。	
	・自由設定の観点（任意）（※２）	

（※２）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※３）	目標（値）（※４）	実績（値）
外国人の来場者数	地域の芸術団体によるアウトリーチプログラム～0 歳もいっしょに！はじめてコンサート～の「外国人留学生向け市内名所でのコンサート」において、日本語学校教職員が留学生に勧めたい進学先「日本留学 AWARDS」で殿堂入りし、18 カ国の留学生が在籍している足利大学の留学生（約 200 名）の半数を上回る外国人の来場者数 100 人	地域の芸術団体によるアウトリーチプログラム～0 歳もいっしょに！はじめてコンサート～における足利大学の外国人の来場者数 80 人（△20 人、達成率 80%）

（※３）・（※４）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	評価指標である「外国人の来場者数」において、数値目標である 100 人に対し、80 人（達成率 80%）であった。目標値には達しなかったものの、留学生が多数在籍している足利大学と連携し、外国人向けの事業を初めて実施することができたことと初年度に 80 人の集客を得られたことは、新たな創客に向けた確かな進展と言える。本事業を端緒として、今後は大学側との連携をさらに深め、外国人に文化芸術体験の機会を提供し、文化芸術を通じた人的交流を促進するとともに、外国人の事業への参加、定着を目指したい。
所見	足利大学の外国人留学生を捉えた「外国人留学生向け市内名所でのコンサート」の企画にはユニークさがある。外国人向けには普-01 の小学校アウトリーチでも実施しているように、美しい日本語の歌や箏曲などの伝統芸能も含むようなプログラムの工夫もあるとよいのでは。
対応・追加情報 （所見・意見交換を受けて）	

（２）自己評価

（※１）…S～D で記入すること。

評価項目③：地域文化拠点機能

評価の観点	・（文化拠点）地域の特性やニーズを踏まえ、地域の文化資源を活用するなど、地域の文化拠点として事業が組み立てられている。 ・（地域連携）地域の関係機関と連携・協力し、地域コミュニティの創生や社会課題の解決等に取り組んでいる。 ・（児童生徒への機会提供）次代を担う子ども達を対象とした鑑賞や体験事業が行われている。	
	・ホール利用サービス（貸館事業）の向上（任意）（※２）	
	・自由設定の観点（任意）（※３）	

（※２）・（※３）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※４）	目標（値）（※５）	実績（値）
小学校対象事業の参加率	地域の芸術団体による学校連携プログラム～演劇ワークショップ～において、前年度を上回る参加者校 10 校(前年度 8 校)	地域の芸術団体による学校連携プログラム～演劇ワークショップ～の参加者校 8 校(目標 10 校、前年度 8 校)
貸館利用者の満足度	85%以上が「満足」「ほぼ満足」と回答	「満足」「ほぼ満足」と回答した割合 96.9%（回答数 1,235 件）

（※４）・（※５）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	評価指標である「小学校対象事業の参加率」は、目標の 10 校に対し、実績は前年度と同数の 8 校（達成率 80%）であった。前年度と同数の参加があったものの、参加校は市内小学校の 30%程度に留まることからより多くの学校の参加を得るためにさらなる取り組みが必要と考える。 実施内容を可視化するとともに、参加した学校から得られた「普段体験できないことだったので、とても関心を持って取り組んでいた様子だった」、「子どもたちが生き生きと楽しく活動できた」などの声を事業成果として強調していく。また当館のレジデントカンパニー「足利ミュージカル」の団員によるプロの指導を受けられる場であることをアピールし、実施校のさらなる拡大を目指したい。 「貸館利用者の満足度」は、目標の 85%を超える 96.9%から高評価を得ることができた。一方で、設備の老朽化に関する意見に対しては、設置自治体と協議しながら設備の更新を進めていきたい。今後も利用者に満足してもらえるサービスの提供に努めたい。
所見	普-01 学校連携プログラムの小学校向けアウトリーチコンサートについて活動の目的や趣旨が不明瞭との活動報告がある。 例えば、①クラシック音楽の親しみを増すのか、②多様な楽器や音色を紹介し興味を促進するのか、③学校の音楽授業と連携し教科書に掲載している楽曲を取入れるのか・・などである。今後の参考にしていただきたい。
対応・追加情報 （所見・意見交換を受けて）	

（2）自己評価

（※1）…S～D で記入すること。

評価項目④：多様性とアクセシビリティ

評価の観点	・(プログラムの多様さ）プログラムの種類や形態が多様で、幅広い観客や参加者に訴求する。 ・(参画者の多様さ）アーティストやスタッフとして参画する人々の属性（性別、年代、居住地、他）が多様である。 ・(アクセシビリティ）障がいの有無や年齢、性差、国籍、居住地、経済的状況等に関わらず、あらゆる人々と実演芸術をつなぐため、施設の構造・設備上の配慮、プログラム上の創意工夫やサポート、アウトリーチ等が行われている。	
	・自由設定の観点（任意）（※2）	

（※2）…R7 年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※3）	目標（値）（※4）	実績（値）
若年層の利用者数（U18 チケット／U25 チケット販売数）	市内の小中学校、高校を中心に若年層への広報の強化（アウトリーチやクリニックの際に PR 等）をすることで主催公演において、前年度を上回る利用者数 計 205 人(前年度 171 人)	主催公演における U18 チケットおよび U25 チケット利用者数 計 195 人(△10 人、達成率 95.1%)
アウトリーチの質	地域の芸術団体による学校連携プログラム～小学校アウトリーチコンサート～において、実施校にアンケートを行い、「満足」「ほぼ満足」の回答が 85%以上	地域の芸術団体による学校連携プログラム～小学校アウトリーチコンサート～におけるアンケート結果 音楽　計 100% 回答数 14 「満足」10 「ほぼ満足」4 伝統芸能　計 85.7% 回答数 7 「満足」2 「ほぼ満足」4

（※3）・（※4）…R7 年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	評価指標である「若年層の利用者数（U18/U25 チケット販売数）」において、目標値の 205 人に対し、実績は 195 人（達成率 95.1%）であった。前年度実績 171 人から約 14%増と着実な伸長を見せており、概ね達成できたといえる。 また今年度は「劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業」の助成を受け、クラシック、オペラ、狂言など 6 公演において子ども無料招待を実施した。当該枠による来場者 506 人を合わせると、実質的な若年層の鑑賞者数は目標値を大きく上回った。伝統芸能やクラシック音楽など、中高年層に偏りがちなジャンルにおいて、若年層の割合を増やすことができた。 以上のことから、アウトリーチやクリニックを起点とした若年層向けの広報活動が奏功したと分析している。今後は、SNS 等を活用した情報発信の最適化を図ることで、次世代の観客層の定着と拡大を推進したい。 「アウトリーチの質」において、実施校の 85%以上から「満足」「ほぼ満足」を得ることを目標とした。音楽においては満足度 100%、伝統芸能においては満足度 85.7%といずれも高い評価で、目標を達成した。高い満足度を得られた要因としては鑑賞に加え、楽器体験や出演者と一緒に歌うなど児童が参加できるプログラムとしたことが大きいと分析している。 市内全ての小学校 24 校が音楽と伝統芸能のいずれかで参加しており、文化芸術体験に対する学校の意欲の高さが窺える。出演団体である地域の芸術団体と引き続き連携し、子どもたちが文化芸術に興味・関心を持てる内容のアウトリーチを提供していきたい。
所見	子供無料招待をうまく活用し若年層の鑑賞者を増やせたのは良い結果である。ただしこの制度の今後の継続は不明のため独自の施策を考えてほしい。アウトリーチの質を示すアンケートは母数が少ないので評価が難しい。サンプル数を増やす工夫をしてほしい。SNS 等も含め参加者とのつながりを絶やさぬ手法も考えるとよいだろう。バリアフリー対応については要望書各事業概要の「バリアフリー・多言語対応について」の欄がすべて空欄となっている。他方「施設の概要」には車椅子、トイレ、ベビーシート、駐車場等の記述があるのでこれを各事業概要の当該欄への記入をお願いしたい。加えて新たな施策も考慮いただきたい。
対応・追加情報 （所見・意見交換を受けて）	

（２）自己評価

（※１）…S～D で記入すること。

評価項目⑤：自由設定（任意）

評価の観点	①　創造性・企画性、②国際性、③地域文化拠点機能、④多様性とアクセシビリティ、⑥運営体制と持続可能性　の項目では成果や課題に言及しきれない事柄について、自己評価を行ってください。（※２）
	・ ・ ・

（※２）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※３）	目標（値）（※４）	実績（値）

（※３）・（※４）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	
所見	
対応・追加情報（所見・意見交換を受けて）	

（2）自己評価

その他：エピソードやグッドプラクティス事例について

助成対象事業に関連して、心に響くような印象的な出来事や、他館の参考になるような好事例があれば、具体的にご記入ください。

足利ユースオーケストラの卒団生が、在籍時に得た音楽の楽しさや人とのつながりを今度は自分が子どもたちに音楽体験を届けたいという思いから、大学ゼミの卒業制作として「ユースオーケストラを広めるための発信・体験プロジェクト」を企画した。
本事業を通じて育成された人材が、卒団後も当団への愛着を持ち続け、自発的に「次の世代へ音楽体験を届ける活動」を起こすに至った好事例である。

シニア劇団「燦 SAN」～すこやかアウトリーチ～で訪問した施設では、参加者が終了後に感極まって涙を流したり、出演者と抱擁して感謝を伝える姿が見られた。
単なるアウトリーチの枠を超え、同じシニア世代である参加者の心を強く動かし、出演者と参加者が互いに生きがいや活力を分かち合う良い機会となった。

シニア劇団「燦 SAN」第 14 回定期公演において、タクシー領収書提示による当日券割引「乗合いタクシーde チケット」を実施した。
利用者からは「車等の移動手段がないため、こうした来場支援の取り組みは本当にありがたい」と評価を得た。本取り組みは車移動が基本となる地方において、移動困難なシニア層の鑑賞機会の確保とアクセシビリティ向上に寄与した好事例である。

地域の芸術団体による学校連携プログラムのアウトリーチプログラムに対して、参加した学校の教師から、児童・生徒の様子について下記の通り声が寄せられた（一部抜粋）。
・音楽の授業では気が散ってしまう児童がステージから目を離さずに観て聴いていました。
・小学部から院内学級まで、どの児童生徒もよく聞き楽しそうに体験している様子が見られました。
・普段体験できないことだったので、とても関心をもって取り組んでいた様子だった。

当館の専属芸術団体による市内学校クリニックに参加した生徒が、その後も指導者から個別に継続して指導を受けている旨が、顧問より報告された。
クリニックを契機に、より高度な技術を学びたいという意欲ある生徒と当館のレジデントアーティストがマッチングし、アーティストが生徒の学びを支える役割を担うことになった好事例である。

地域の芸術団体によるアウトリーチプログラムの 0 歳もいっしょに！はじめてコンサートに対して、参加した子どもの保護者から、下記の通り子どもの様子や感謝の声が寄せられた（一部抜粋）。
・あたたかい雰囲気で楽しませていただきました。小さなお子さんにこんな機会がある足利って、すてきな街だなと改めて思いました。
・2 歳の娘も 0 歳の息子もとても楽しんでいました。アンパンマンが大好きなのでアンパンマンメドレーが一番楽しかったそうです。本日はありがとうございました。
・子どもに生の音を聴かせる機会が少ないので良い機会だった。

（２）自己評価

評価項目⑥：運営体制と持続可能性

（※１）・（※２）…Ｒ７年度評価補助シートから転記すること。

※太枠内に記入してください

○「実現性」の項目より〈(ア）～（エ)〉

評価の観点	（ア）多様な財源の確保 予算計画が妥当であり、事業収入のほか、各種助成金や寄附金・協賛金等の獲得に努めている。	（イ）広報・営業力 広報計画が充実しており、券売や集客、会員制度等の拡充に努めている。
現状（※１）		
目標(値)（※２）		
実績(値)		
団体の自己評価		
所見		
対応・追加情報		

評価の観点	（ウ）他館連携 他の劇場・音楽堂等との事業連携や協力・支援を通じて、効果的で効率的な事業運営を行っている。	（エ）設置者 円滑な事業の継続のため設置者と適切に意思疎通を図っており、設置者による人材や財源の確保等が期待できる。
現状（※1）		
目標(値)（※2）		
実績(値)		
団体の自己評価		
所見		
対応・追加情報		

○「持続可能性に関するチェックシート」より〈(オ）～（セ)〉

評価の観点	（オ）芸術監督 芸術監督等、劇場運営の芸術面を統括する人材が配置されている。	（カ）長期的経営 長期的視点に立ち、劇場運営を統括する、経営実務者が配置されている。
現状（※1）		
目標(値)（※2）		
実績(値)		
団体の自己評価		
所見		
対応・追加情報		

評価の観点	（キ）専門人材の確保 今日的な劇場運営に必要な職能や専門性を踏まえ、運営体制が整備されている。あるいは専門人材の確保や育成に努めている。	（ク）職制の整理 芸術監督、館長、支配人、プロデューサー、その他管理職の職位及び職能、一般職員の職務内容等が専門性を基に整理され、役割分担されている。
現状（※1）		
目標(値)（※2）		
実績(値)		
団体の自己評価		
所見		
対応・追加情報		

評価の観点	（ケ）世代間バランス 年齢バランスを考慮した人材確保を行っている（若年層の雇用に努めている）。	（コ）ジェンダーバランス 女性管理職比率が 30%以上である。あるいは、女性の管理職やリーダー職への登用に努めている。
現状（※1）		
目標(値)（※2）		
実績(値)		
団体の自己評価		
所見		
対応・追加情報		

評価の観点	（サ）ワークライフ・バランス 仕事と育児･介護等の両立支援制度を整備し、推進している。	（シ）コンプライアンス順守 情報セキュリティをはじめ、各種コンプライアンスの順守規定を策定し、必要な研修を行っている。
現状（※1）		
目標(値)（※2）		
実績(値)		
団体の自己評価		
所見		
対応・追加情報		

評価の観点	（ス）ハラスメント防止対策 職場内及び創作現場におけるパワー・ハラスメント、セクシュアル･ハラスメント等防止のための指針等を策定・周知し、必要な研修を行っている。	（セ）適正な契約事務 アーティストやスタッフと適正な契約書を交わしている。
現状（※1）		
目標(値)（※2）		
実績(値)		
団体の自己評価		
所見		
対応・追加情報		

（3）総評

※太枠内に記入してください。

団体の自己評価

本年度は、当館のミッション及びビジョンに基づいた事業を展開し、各活動において概ね当初の目標を達成することができた。

・人材養成事業では各事業で定員を上回り、延べ 123 人の参加があった。子ども達は当館のレジデントカンパニーの団員が講師を務める「足利ミュージカル研究科」、「足利オペラ・リリカ研究科」及び「足利ユースオーケストラ」の 3 事業において、プロの表現者から直接学ぶことができた。ミュージカル、オペラ、楽器の 3 つの分野で専門的な技術を学べる環境を継続的に提供できたことは、地域における文化芸術の基盤形成として一定の成果を収めたと言える。

・普及啓発事業では、レジデントカンパニーの機動力を活かした事業を展開した。「0 歳もいっしょに！はじめてコンサート」では、延べ 376 人（達成率 187%）の参加があり、地域の子育て世代の鑑賞機会に対するニーズを再認識した。また、当館の附属芸術団体シニア劇団「燦 SAN」は社会課題の 1 つである高齢者の孤立を取り上げ、シニア世代の仲間づくりワークショップを実施した。どちらも参加者同士の新しいコミュニティを創出する機会となった。
学校・福祉施設・商業施設等でのアウトリーチ活動の参加者は延べ 2,589 人に及び、学校クリニックによる部活動指導を含め、あらゆる人々に文化芸術を届けることができた。

・国際性の推進については、足利大学との連携が極めて有効に機能した。大学のネットワークを通じて、従来の広報活動では届かなかった外国人への直接的なアプローチに成功し、新たな創客を得た。
今後は他機関とも連携し、地域住民と外国人が文化芸術を通じて交流できる機会を拡充していきたい。

・U25 層の利用者が 14%増加し、次代を担う子ども達への鑑賞機会の提供について、着実な進展が見られた。

・本年度の取組は、地域に根差したレジデントカンパニーを中核に、幅広い年代が参加できる事業を展開した。各指標において一定の成果を収めたと認識している。これらの成果を質的にさらに深化させていく。
今後は障がいの有無に関わらず、誰もが等しく、かつ快適に文化芸術に触れられる環境づくりとして、字幕タブレットやヒアリングループ等の鑑賞支援サービスの導入といったアクセシビリティの整備を加速させていきたい。

所見

今回の公演事業は不採択であったが人材養成や普及啓発事業においてはきめ細かな準備と実行により成果を上げている。

「足利ミュージカル」、「足利オペラ・リリカ」、「足利カンマーオーケスター」は専属契約を締結しているレジデント団体であり、これにシニア劇団「燦 SAN」を加えた活動は地域に根付いており足利市の存在感を示しているといえよう。

今後は留学生への対応も含めた他地域にはない足利ならではの企画力とその実行を期待している。

備考